科目名	ビジネスマナーⅠ	単位数	2	科目コード	
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年 前期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・敬語、ビジネス電話応対、冠婚葬祭マナーの基礎を指導します。 ・教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 ・社会人として即戦力となるビジネスマナーと心遣いを習得すべく指導していきます。				
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、配布プリント				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・心構え・身だしなみを身につける
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める

授業計画（全体）

・教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。
・言葉については正しい日本語・敬語・ビジネス独特の言葉遣いを指導し、若者言葉を正します。
・社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	第１章 社会人としての心構え１(接遇の基本理念)		Ｐ７～９、プリント
3～4	第１章 社会人としての心構え１(ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ・CS思考)	自己紹介文作成	Ｐ１０～１２、プリント
5～6	第１章 社会人としての心構え２(報告・連絡・相談)，３	自己紹介文発表	Ｐ１３～１６、プリント
7～8	第２章 基本動作 １，２，３，４，５	宿題	Ｐ１７～２２、プリント
9～10	第３章 言葉遣いの基本　１(接客８大用語)	宿題（ｸｯｼｮﾝ言葉）	Ｐ２４、２５、プリント
11～12	第３章 言葉遣いの基本　１(クッション言葉)	宿題（ｸｯｼｮﾝ言葉）	Ｐ２６、２７、プリント
13～14	第３章 言葉遣いの基本　２（敬語）	宿題（敬語）	Ｐ２８～２９、プリント
15～16	第３章 言葉遣いの基本　２（敬語）	宿題（敬語）	Ｐ３０、プリント
17～18	第３章 言葉遣いの基本　３（敬語・若者言葉）	宿題（敬語）	プリント
19～20	第３章 言葉遣いの基本　３（敬語・若者言葉）	宿題（敬語）	プリント
21～22	資料編４　冠婚葬祭（冠のしきたり）	宿題	Ｐ９７、プリント
23～24	資料編４　冠婚葬祭（婚のしきたり）	祝儀袋、宿題	Ｐ９８、プリント
25～26	資料編４　冠婚葬祭（葬のしきたり）	不祝儀袋、宿題	Ｐ９９、プリント
27～28	資料編４　冠婚葬祭（祭のしきたり）	宿題	Ｐ１００、プリント
29～30	前期試験実施		

成績評価方法

1　期末試験（筆記）
2　小テスト
3　提出物
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					20	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート	○						20	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	池田美和子	実務経験紹介	https://urbangrace.jp/

科目名	ビジネスマナーⅡ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・来客、訪問のマナーを実践練習を通して習得すべく指導を行います。 ・冠婚葬祭や食事のマナー、ビジネス文書、個人情報保護法についての基礎を指導します。				
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める

授業計画（全体）

教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。
名刺交換の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用してのロールプレイングも実施します。
社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	第４章 来客応対 １，２		
3～4	第４章 来客応対 ロールプレイング１		
5～6	第４章 来客応対 ４，ロールプレイング２		
7～8	第４章 来客応対 ５，ケーススタディ１		
9～10	第４章 来客応対 ６		
11～12	第４章 来客応対 ７，９，１０		
13～14	第４章 来客応対 ８，ケーススタディ２		
15～16	第６章 訪問のマナー１，ロールプレイング６		
17～18	第６章 訪問のマナー２		
19～20	第６章 訪問のマナー　ロールプレイング７、名刺		
21～22	第６章 訪問のマナー３，資料編３		
23～24	資料編４、５		
25～26	ビジネス文書		
27～28	個人情報保護法		
29～30	後期試験実施		

成績評価方法

1　期末試験（筆記）と出席率
2　小テスト
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	江見恵子・池田美和子	実務経験紹介	https://urbanemi.com/

科目名	電話応対Ⅰ	単位数	2	科目コード	
授業形態	演習	時間数	30	開設期	１年　前期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・社会人として必要な電話応対の基礎の習得を指導します。 ・社会で即戦力となる電話応対の基礎を、模擬応対機を使用して実践を交えて指導します。 ・電話応対に不可欠な発声練習を行い、好印象を与える声づくりを行います。				
授業の一般目標	・社会人として必要な電話応対の基礎の習得を目指します。				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	教本（実践ビジネスマナー）、電話応対模擬機材、配布プリント				

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的な電話応対を習得する
☑ 思考・判断の観点	社会人として必要な電話応対の言葉遣いや作法を習得する
☑ 関心・意欲の観点	電話応対に積極的に取り組む意欲を養う
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい電話応対の言葉遣い・心遣いや態度を身につける
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・心遣い・態度等、コミュニケーション能力を高める

授業計画（全体）

・教本を軸として、電話応対の基礎となる敬語や言葉遣い、ビジネス用語をまず指導します。
・並行して電話応対に不可欠な発声練習を行い、好印象を与える声づくりを行います。
・電話応対は模擬応対機を使用し、実務に即した応対を指導します。
・社会人として即戦力となる電話応対を習得すべく指導していきます。

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	第５章 電話応対 １，２	電話基本応対ﾌﾟﾘﾝﾄ、宿題	Ｐ５７～６１、プリント
3～4	資料編１発声練習、２滑舌の練習	電話基本応対ﾌﾟﾘﾝﾄ、宿題	Ｐ９２～９４、プリント
5～6	第５章 電話応対 ２	電話基本応対ﾌﾟﾘﾝﾄ、宿題	Ｐ６２～６３、プリント
7～8	第５章 ロールプレイング３、模擬応対練習	電話基本応対ﾌﾟﾘﾝﾄ、宿題	Ｐ６４、プリント
9～10	第５章 電話応対 ３，４（伝言メモP73）	宿題	Ｐ６５～６６、プリント
11～12	第５章 電話応対 ３，４（ｸﾚｰﾑ電話等）	宿題	Ｐ６７～６８、プリント
13～14	第５章 電話応対 ロールプレイング４	宿題	Ｐ６９、プリント
15～16	第５章 電話応対 ロールプレイング４	宿題	Ｐ６９、プリント
17～18	第５章 電話応対 ５,ロールプレイング５	宿題	Ｐ７０～７２、プリント
19～20	第５章 電話応対 ５,ロールプレイング５	宿題	Ｐ７３、プリント
21～22	第５章 電話応対 ４（苦情電話）	宿題	Ｐ６７、プリント
23～24	第５章 電話応対 ４（道案内）	宿題	Ｐ６７、プリント
25～26	第５章 電話応対 ６,(携帯電話・ＦＡＸ）	宿題	Ｐ７４～７５、プリント
27～28	第５章 電話応対 ６,(Ｅメール）	宿題	Ｐ７６、プリント
29～30	前期試験実施		

成績評価方法

1.電話応対実技
2.小テスト
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	池田美和子	実務経験紹介	https://urbangrace.jp/

科目名	電話応対Ⅱ	単位数	2	科目コード	
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年後期
受講条件		開設時期		教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	社会人1年目での必要なビジネススキルとして、電話で顧客対応となる。電話応対コンテストに向けて取り組むことで、応対でのマナーを取得する。				
授業の一般目標	電話応対コンテスト入賞				
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）					

授業の到達目標

☑ 知識・理解の観点	受験に足りる知識を身につける
☑ 思考・判断の観点	電話の相手の求めに応じて応対できるための思考があるか。
☑ 関心・意欲の観点	仕事に使える電和応対技能の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか。
☑ 態度の観点	社会人として好ましい電話応対ができるよう積極的な姿勢を示しているか。
☑ 技能・表現の観点	言葉の選び方、話す早さ、声の高さが電話応対において好ましい表現ができているか。

授業計画（全体）

もしもし検定３級の筆記試験出題内容に準じてプリント資料、過去問題集を中心に学習させる。電話応対の実技試験対策として、過去の問題に取り組み電話応対に慣れ、求めに応じられるよう言葉づかいの幅を広げ、音声表現を向上させる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～2	日本語おさらい・敬語の種類と使い分け		
3～4	電話応対おさらい・電話応対の基本・かけ方、受け方		
5～6	もしもし検定３級実技試験過去問題		
7～8	もしもし検定３級実技試験過去問題		
9～10	もしもし検定３級実技試験過去問題		
11～12	仕事の基本マナー・来客と訪問・名刺交換・紹介・席次		
13～14	確認テスト【１】		
15～16	確認テスト解説		
17～18	もしもし検定３級実技試験過去問題		
19～20	もしもし検定３級実技試験過去問題		
21～22	もしもし検定３級実技試験過去問題		
23～24	マナーおさらい・ビジネス文書、FAX、メールの基本		
25～26	マナーおさらい・冠婚葬祭・贈答と進物		
27～28	確認テスト【２】		
29～30	もしもし検定３級受験		

成績評価方法

1.電話応対実技
2.小テスト
3
4

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		60	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					40	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度							評価なし	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品							評価なし	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	江見恵子・池田美和子	実務経験紹介	https://urbanemi.com/

科目名	色彩概論Ⅰ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年前期
受講条件		開設時期	前期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。				
授業の一般目標					
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	色彩検定 公式テキスト 3級編 過去問題集2018年度2・3級 新配色カード 199a				

授業の到達目標

- ☑ 知識・理解の観点　PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことが出来る。
- ☑ 思考・判断の観点　配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。
- ☑ 関心・意欲の観点　色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。
- ☐ 態度の観点
- ☐ 技能・表現の観点

授業計画（全体）

色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。　日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	色の三属性　カラーカード分け		
5～8	色の三属性		
9～12	PCCS		
13～16	PCCS、色相環		
17～20	PCCSトーン		
21～24	色彩心理、グループワーク		
25～28	色彩心理、商品パッケージ分析		
29～32	光と色　眼の構造		
33～36	光と色　照明		
37～40	混色ワーク　混色例		
41～44	対比、同化		
45～48	配色、配色ワーク、3色配色　作品作成		
59～52	ファッションカラー、ファッションカラー配色　作品作成		
53～56	インテリア		
57～60	模擬試験		

成績評価方法

(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。
(2)グループワークでまとめたレポートを発表。
(3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。
(4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					20	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度			○				10	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	田村　絵里子	実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/palelilac-colorlab

科目名	色彩概論Ⅱ	単位数	2	科目コード	
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年後期
受講条件		開設時期	後期	教員実務経験対象	有
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。				
授業の一般目標					
受講条件					
事前学習について（テキスト・参考書等）	色彩検定 公式テキスト 3級編 過去問題集2018年度2・3級 新配色カード 199a				

授業の到達目標

- ☑ 知識・理解の観点　PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことが出来る。
- ☑ 思考・判断の観点　配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。
- ☑ 関心・意欲の観点　色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。
- ☐ 態度の観点
- ☐ 技能・表現の観点

授業計画（全体）

色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。　日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。

授業計画（授業単位）

回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等	授業の記録
1～4	色の三属性　カラーカード分け		
5～8	色の三属性		
9～12	PCCS		
13～16	PCCS、色相環		
17～20	PCCSトーン		
21～24	色彩心理、グループワーク		
25～28	色彩心理、商品パッケージ分析		
29～32	光と色　眼の構造		
33～36	光と色　照明		
37～40	混色ワーク　混色例		
41～44	対比、同化		
45～48	配色、配色ワーク、3色配色　作品作成		
59～52	ファッションカラー、ファッションカラー配色　作品作成		
53～56	インテリア		
57～60	模擬試験		

成績評価方法

(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。
(2)グループワークでまとめたレポートを発表。
(3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。
(4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト	◎	○					20	優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度			○				10	可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（　）内はＧＰＡ点数

担当教員	田村　絵里子	実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/palelilac-colorlab